

東郷實 （あごぎ）、農政學・植民政策學者、農學博士。明治十四年十一月
十一日鹿児島縣生れ、昭和二十四年七月二十一日歿（二八六一—一九五九）。
明治二十八年札幌農學校卒。ドイツ留學後、臺灣總督府官吏を経て、
大正十二年衆議院議員（連續當選八回）、逓信參與官、文部政務次官
歴任。東京商科大学、拓殖大學、日本大學等各講師。

著書に『獨逸内國植民論』（明治四十四年九月六日拓殖局「拓殖局
報」）、『植民政策と民族心理』（大正十四年十月十五日岩波書店）、
『植民夜話』（大正十五年四月二十日岩波書店）、『精神文化の復
活と農村問題』（昭和二年五月二十日學藝講演通信社「學藝講演通信
社パンフレット」）、『新話術』（合著・社會教育會編、昭和九年五
月二十日社會教育會、社會教育會館發賣）等。

